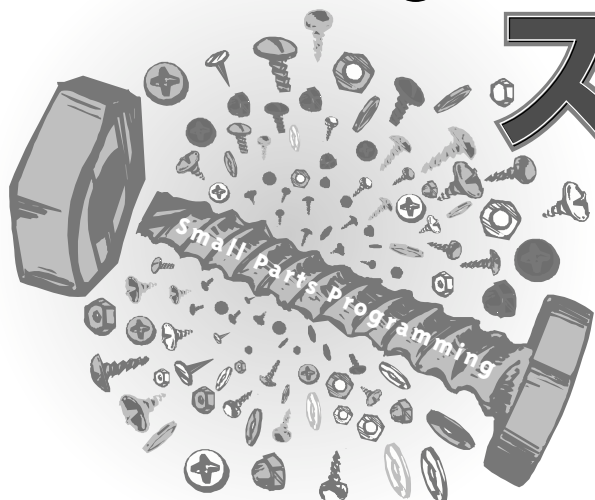


# VB.NET +

コンポーネント活用講座  
～ 教養課程 ～

## スモールパーツ プログラミング

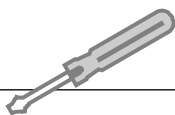


第2回

小森 大輔 KOMORI, Daisuke

### TextBoxコントロール ～Part1～

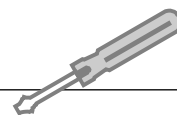
#### はじめに



本連載では、Visual Basic.NET (以下VB.NET) の標準コントロールにスポットを当て、とことん使い込んで、その機能や役割を探ってゆきます。

第2回目である今回は、おなじみのTextBoxコントロールを主役に据えてお話しします。

#### TextBoxコントロール



TextBoxコントロールは、ユーザーが入力を行なうことのできる“文字列を表示する”コントロールです。

Visual Basicのプログラミング経験者であれば、どなたも必ず一度は使ったことのあるコントロールですよね。Buttonコントロールと並んで一番使用頻度が高いのではないのでしょうか？しかし使ったことがあると言っても侮ってはいけません。TextBoxコントロールのすべてを知り尽くし、うまくその機能を使うことができているのでしょうか？ひょっとすると、知らなかった便利な機能が隠されていて、みなさんがこれから作ろうとしているアプリケーションのUI (ユーザーインターフェイス) の実装が飛躍的に楽になるかもしれませんよ。

Small Parts Programming

#### 本稿で前提となるもの

OS Windows XP

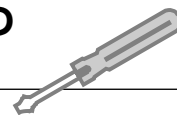
開発環境 Visual Basic.NET

初級 中級 上級

この記事で解説したサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DMAG¥SMALLフォルダ以下に収録しています

¥SELECT : テキストの選択  
¥CLIPBOARD : コピー、切り取り、貼り付け  
¥UNDO : Undoメソッドで元に戻す操作  
¥LINESDEMO : テキスト行の取得  
¥VALIDATING : データの検証  
¥FOCUS : Labelコントロールのフォーカス

#### TextBoxコントロールのプロパティ



TextBoxコントロールの主なプロパティには、表1のようなものがあります<sup>注1)</sup>。これらのプロパティを大きく

注1) これ以外にも、コントロールの基本クラスであるControlクラスから継承された数多くのプロパティをもっています。

表1：TextBoxコントロールの主なプロパティ

プロパティ	値	内容
AcceptsReturn	Boolean	複数行テキストボックスで、[Enter] キーが押された場合に改行を行なうかどうかを示す値
AcceptsTab	Boolean	複数行テキストボックスで、[Tab] キーが押された場合にタブを入力できるかどうかを示す値
BorderStyle	BorderStyle 列挙体の値	コントロールの境界線の種類
CanUndo*	Boolean	Undo メソッドで直前の操作を元に戻すことができるかどうかを示す値
CharacterCasing	CharacterCasing 列挙体の値	入力された文字の大文字と小文字を自動的に変更するかどうかを示す値
ForeColor	Color 構造体	前景色
HideSelection	Boolean	コントロールがフォーカスを失ったときに、選択されているテキストを強調表示したままにするかどうかを示す値
Lines	String 配列	テキスト行の配列 (Multiline プロパティが True に設定されているとき)
MaxLength	Integer	入力できる最大文字数
Modified	Boolean	ユーザーが TextBox コントロールの内容を変更したかどうかを示す値
Multiline	Boolean	複数行のテキストを表示できるかどうかを示す値
PasswordChar	Char 構造体	入力された文字をパスワードとしてマスクするために使用される文字
PreferredHeight	Integer	コントロールのフォントと境界線スタイルを考慮して、設定されたテキストを適切に表示するための高さ
ReadOnly	Boolean	テキストを読み取り専用とするかどうかを示す値
ScrollBars	ScrollBars 列挙体の値	コントロールに表示するスクロールバーの表示方法
SelectedText*	String	現在選択されているテキスト
SelectionLength*	Integer	選択されているテキストの文字数
SelectionStart*	Integer	選択されているテキストの開始点
Text	String	表示するテキスト
TextAlign	HorizontalAlignment 列挙体の値	コントロール内でのテキストの配置を示す値
TextLength*	Integer	テキストの長さ
WordWrap	Boolean	複数行テキストボックスでの改行方法

\* プロパティ名の右側に\*が付いているものは、プロパティウィンドウには表示されず、コードでのみ利用可能なプロパティです。

分けると、表示に関するもの、動作（テキスト選択/操作）に関するもの、そしてデータに関するものなどに分けられます。

まずは、表示に関するプロパティを見てゆくことにしましょう。

### ◆ BorderStyle プロパティ

従来のバージョンの Visual Basic でのコントロールの外観は、枠線の有無を表わす BorderStyle プロパティと、3D 効果の有無を表わす Appearance プロパティの組み合わせで3通りの設定を行なっていました (図1)。

VB.NET では、Appearance プロパティが廃止され、すべてを BorderStyle プロパティの値で設定するように変更されています。BorderStyle プロパティの値は、

BorderStyle 列挙体のメンバのいずれかを選択して設定します (図2)。この変更により、指定の方法が少しすっきりしたような気がしますね。

図1：Visual Basic 6.0 での枠線の設定

